

平成23年11月16日

北海道医療安全支援センター（北海道保健福祉部医療政策局医療業務課）



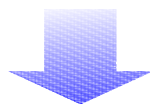
北海道医療安全支援センター情報（第4号）

10月の医療相談事例から・・・

○ 家族内の意見相違について

【相談内容】

- 母が脳内出血と認知症で脳神経外科の病院に入院している。
家族のキーパーソンは父（患者の夫）なので、母の治療方針等については父が病院と話を決めて決めている。父の判断は必ずしも母のためにならないと思うので、自分と意見が対立することがある。
先日、精神科の病院へ転院するよう主治医から父に説明があったようだが、自分はグループホームなどの介護ができる施設が良いと思っている。
家族で話し合っ意思統一をしなければいけないと思うが、思うように話し合いが進まない。



【対応内容（相談者へのアドバイス）】

- 病院としても、家族の意見が相違しているときはキーパーソンと話をするしかないと思います。家族でよく話し合っ、病院と相談してみてもいいかがでしょうか。
なお、病院の相談室で相談ができるのでしたら、お父様と一緒に相談に行っ話し合うのもひとつの方法だと思います。

<参 考>

- 医療機関が医療を提供する際には、適切な説明を行い理解を得るよう努めるとともに、患者さんや家族の方の相談に適切に応じるよう努めることとされています。
- 最近、高齢者の入院療養に関し、家族内の意見相違に関する相談が増えています。いざというときに困らないよう、日ごろから家族内で医療に対する考え方を話し合っおくことも必要ではないでしょうか。